

家計・くらしの調査 年次報告書(2018年分)

2019年3月
日本生協連 政策企画室

はじめに

1978年から全国の協力生協とともに実施していた「全国生計費調査」の終了をうけて、2018年1月よりあらたに「家計・くらしの調査」を開始しました。本調査に参加いただいたモニターの皆さま、ならびに本調査へのモニター募集の広報活動をいただいた会員生協の皆さまに、心より感謝申し上げます。

本調査は「全国生計費調査」の流れを汲みつつも、新たな層の方にも参加しやすくすることを目的に調査項目の簡素化を図るとともに、インターネットからの回答に限定して調査を実施しました。2018年の調査では、1,000名を超える組合員にモニターの登録をいただきました。登録モニターには毎月1回、1～12月分の収入や支出を費目ごとにWebページに入力し、データを日本生協連へ直接送信いただくという形式で取り組みました。

今回、そのうち12カ月連続で提出いただいたモニターのデータから757件を集計し、簡易ではございますが、年間報告書という形で結果をまとめました。本書について、今後の家計簿活動を促進するうえでの参考資料として、またモニターの皆さまご自身の一年間の家計を振り返る際にご活用いただけますと幸いです。なお、2017年まで実施していた「全国生計費調査」とは調査の費目が変わっているため、本調査結果との比較はできていません。

2019年10月には消費税増税が予定されているなど、一層くらしが厳しくなることが予想されます。皆さまのくらしの変化を知るためにも、調査を続けてまいりたいと思います。今後とも一層のご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

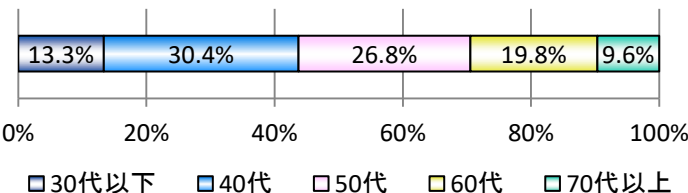
目次

モニター属性	P2
収入・支出	P3
電気・ガスの使用量・料金	P6
消費税しらべ	P8
お寄せいただいた声（抜粋）	P10

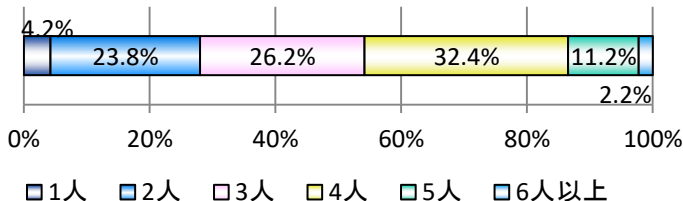
1. モニター属性

世帯主の年代は40代が30.4%と一番多くなりましたが、20代から80代まで幅広い層にご参加いただきました。世帯構成は4人家族が32.4%で、3人家族、2人家族と続きます。子どもの人数は2人が35.1%と一番多く、続いて0人、1人でした。世帯の主な収入は給与が79.3%と大半を占めています。なお、各モニター属性は12月時点のものです。

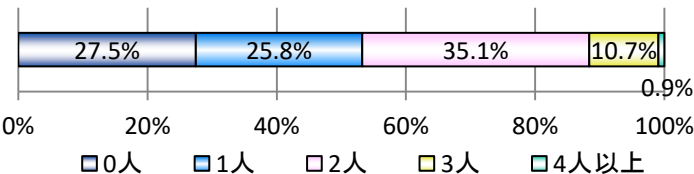
世帯主の年代



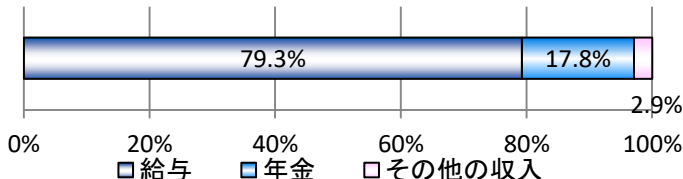
世帯構成



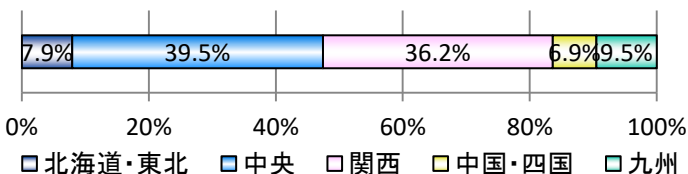
生計を共にする子どもの人数



世帯の主な年収

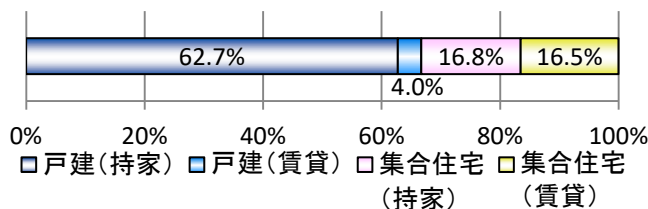


地域別状況

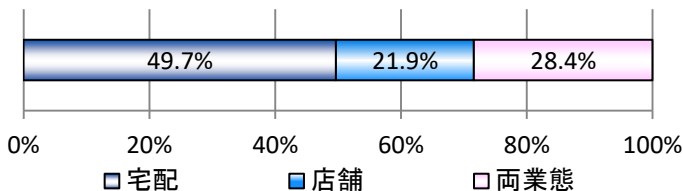


都道府県別エリア一覧	
北海道・東北	北海道・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県
中央	茨城県・群馬県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・山梨県・長野県・新潟県
関西	富山県・石川県・福井県・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・大阪府・兵庫県
中国・四国	岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県
九州	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

住居形態



利用業態



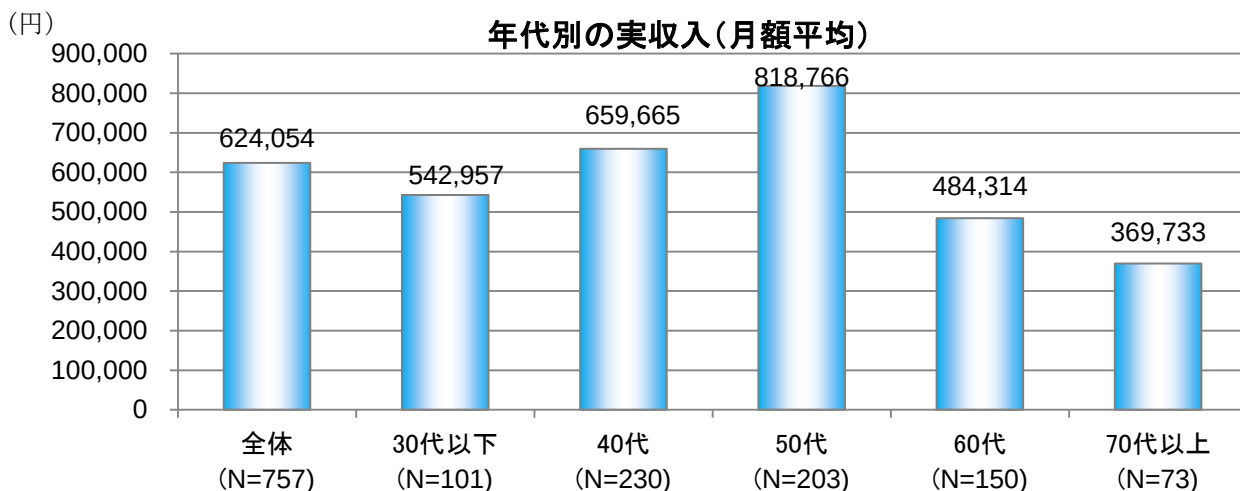
2. 収入・支出

①収入

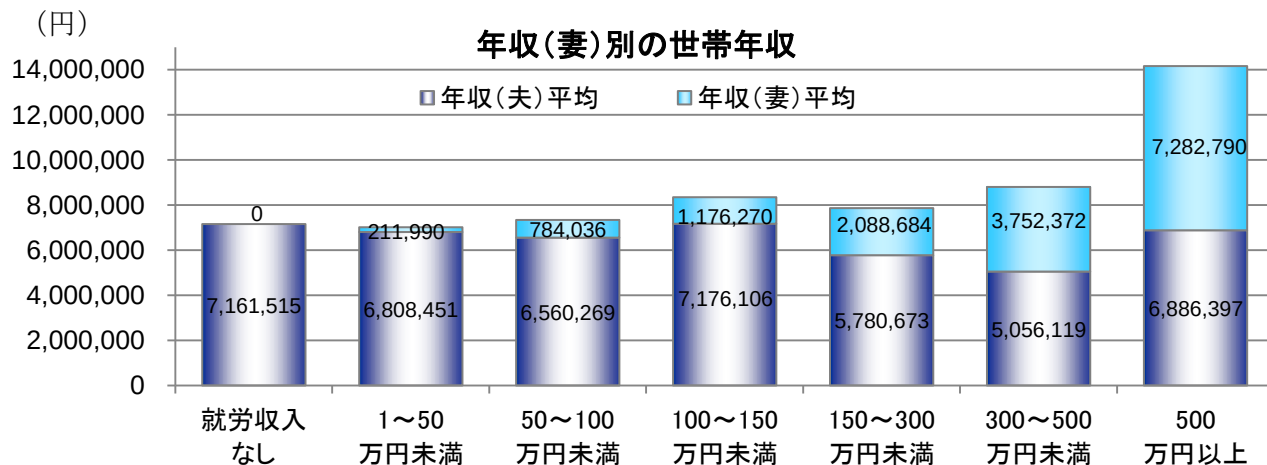
全モニター世帯における実収入の月額平均は624,054円でした。主な収入が給料と年金の世帯を比較すると、実収入に約300,000円の差がありました。年代別の実収入を見ると30～50代にかけて高くなり、60代から減少しています。

(単位:円)

実収入(月額平均、全モニター世帯)							
実収入計	給料(夫)	給料(妻)	賞与(夫)	賞与(妻)	年金(夫)	年金(妻)	その他
624,054	327,528	78,740	88,294	11,485	40,897	17,057	60,052
実収入(月額平均、主な収入が給料の世帯)							
実収入計	給料(夫)	給料(妻)	賞与(夫)	賞与(妻)	年金(夫)	年金(妻)	その他
688,372	404,038	92,548	111,018	14,352	9,173	3,829	53,414
実収入(月額平均、主な収入が年金の世帯)							
実収入計	給料(夫)	給料(妻)	賞与(夫)	賞与(妻)	年金(夫)	年金(妻)	その他
369,284	17,497	19,402	1,686	381	181,103	77,225	71,989



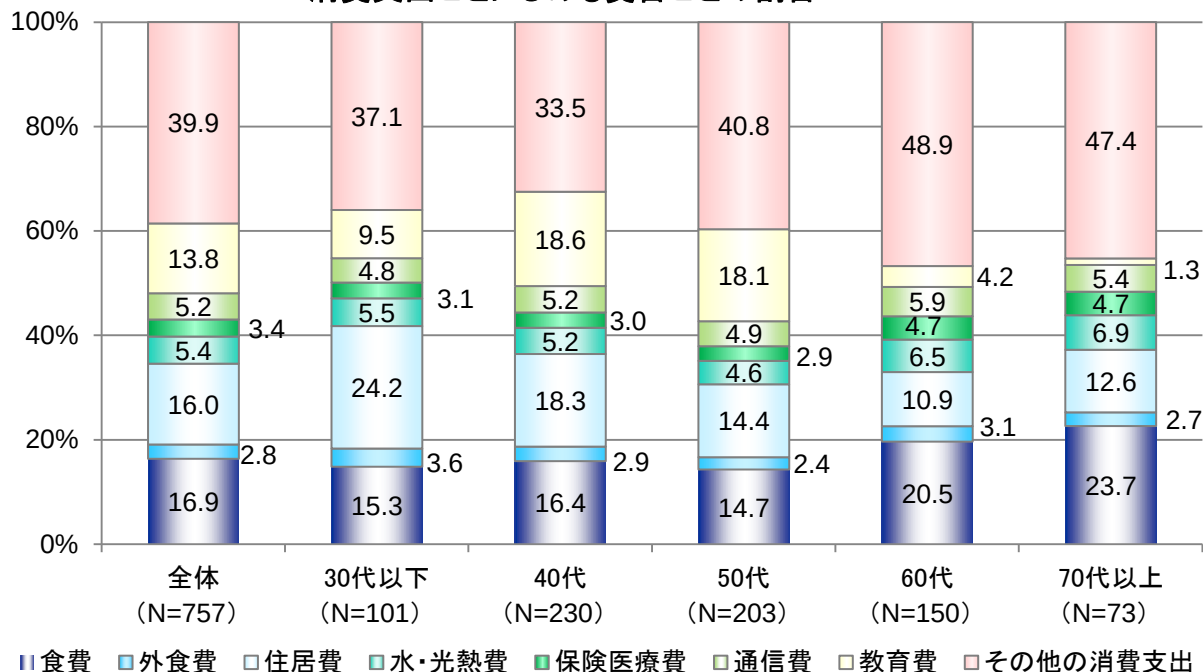
妻の所得階層別に夫の年収の平均額を見ました(主な収入が給料の世帯に限定)。横軸が年収(妻)で、縦軸が世帯の年収(夫と妻の合計)となっています。妻の年収が500万円未満の世帯では、100万～150万未満の世帯を除いて、妻の年収が高い世帯ほど夫の年収が低くなっています。夫の年収が低い世帯は妻が就労して家計を支えていると考えられます。



②支出

消費支出ごとの費目の月額平均と、消費支出に占める費目ごとの割合を分析しました。30代では住居費が全体と比べて大きな割合を占めており、40代、50代になると教育費が占める割合が大きくなります。60代以上は全体の消費支出額が減り、食費の割合が全体よりも多くなっています。

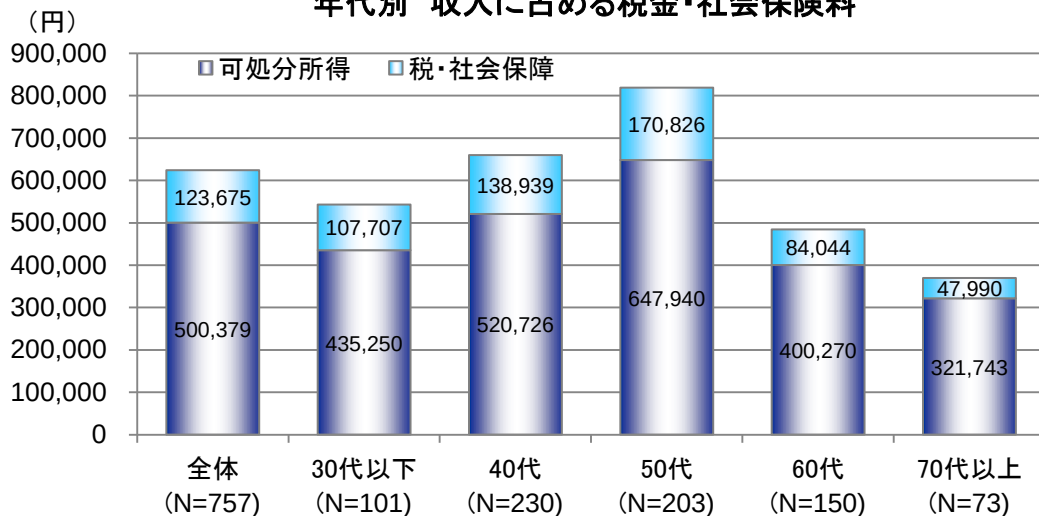
消費支出ごとにしめる費目ごとの割合

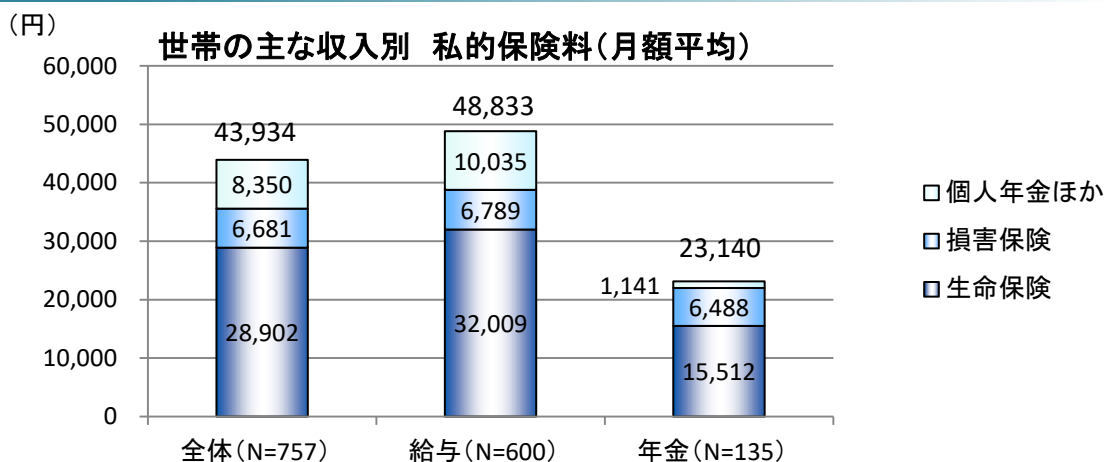


	全体 (N=757)	30代以下 (N=101)	40代 (N=230)	50代 (N=203)	60代 (N=150)	70代以上 (N=73)
消費支出計	354,125	309,789	372,793	437,777	301,077	250,622

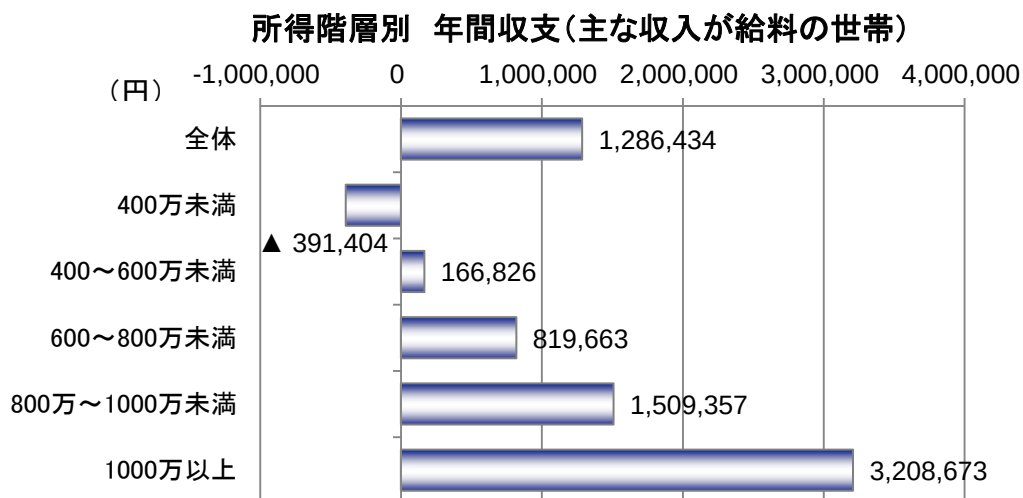
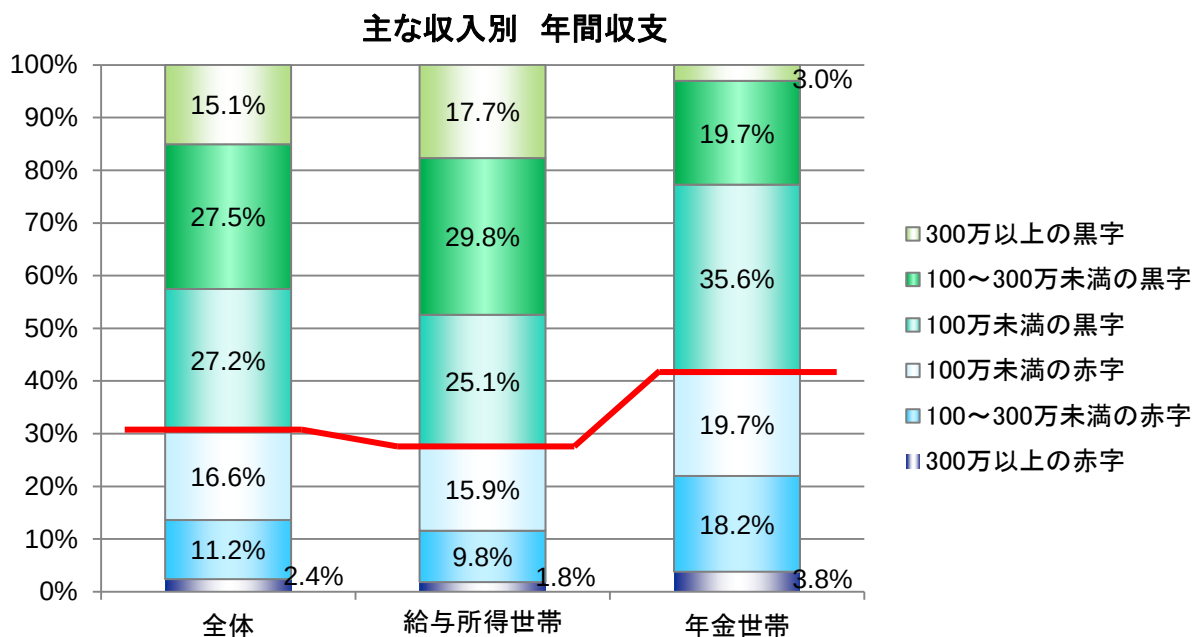
年代別に収入に占める税金・社会保険料を見ると、収入が多い50代が最も多くなり、60代以降は金額が減っていることがわかります。私的保険料を世帯の主な収入別にみると、生命保険では給与世帯と年金世帯で2倍程度の差がありますが、損害保険はほぼ同額となっています。

年代別 収入に占める税金・社会保険料





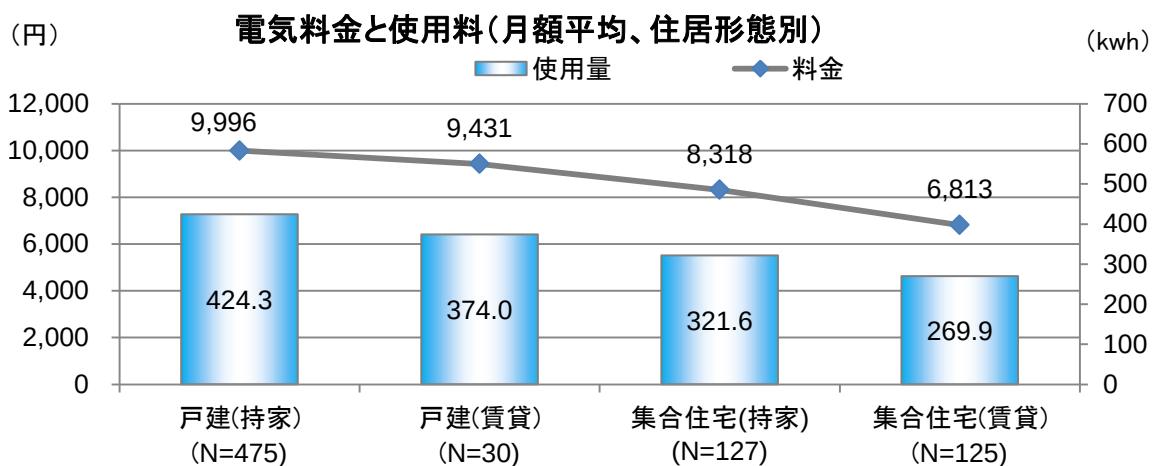
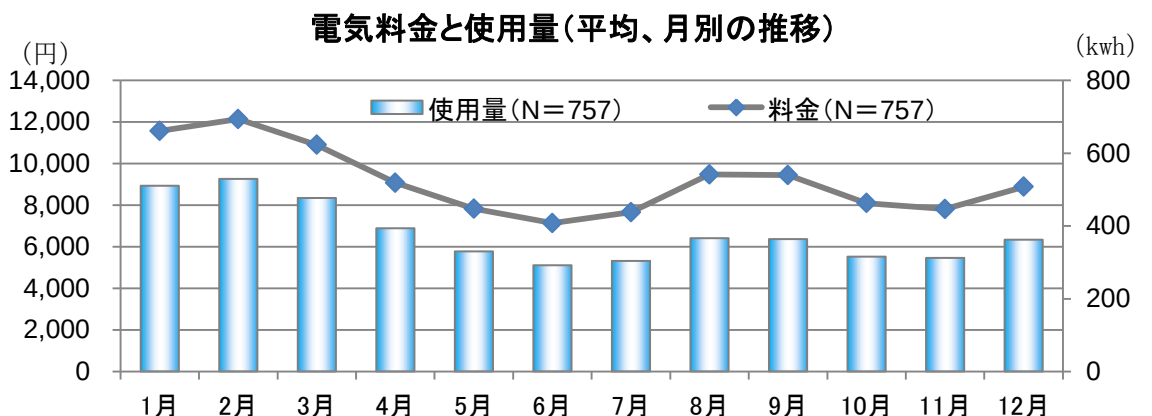
③収支
年間収支が赤字の世帯を合計すると、モニター全世帯では30.2%で、主な収入が給料の世帯では27.5%、年金の世帯で41.7%となりました。主な収入が給料の世帯の年間収支は、全体では1,286,434円の黒字となりました。所得階層が高い層ほど黒字額が大きくなっています。



3. 電気・ガスの使用量・料金

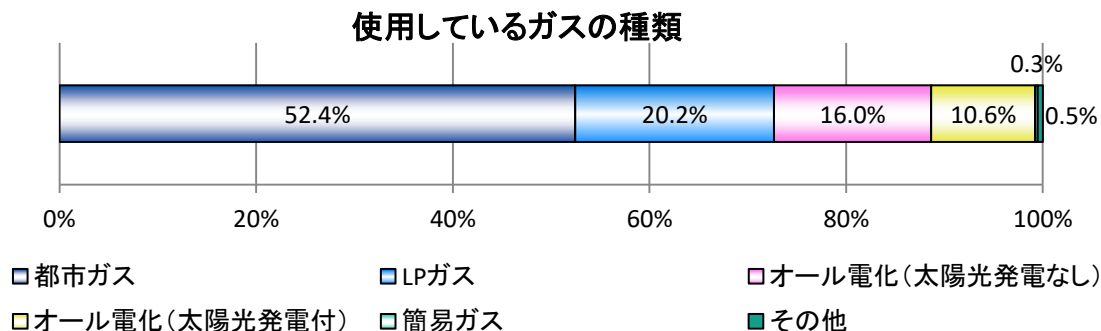
①電気

電気の使用量・料金の月ごとの推移を見たところ、冬場である2月と夏場の8月あたりが比較的多くなっています。住居形態別に月額平均を見たところ、集合住宅(賃貸)より戸建(持家)は使用量と料金が約1.5倍となるなど、形態ごとに差が見られました。



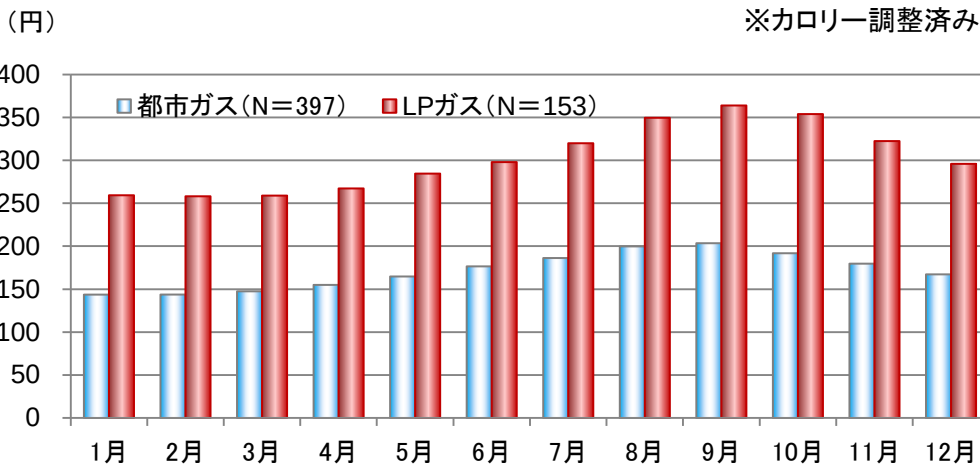
②ガス

使用しているガスの種類は都市ガスが52.4%、LPガスが20.2%、簡易ガスが0.3%でした。またガスを使用しないオール電化の世帯も一定の割合をしめ、太陽光発電なしが16.0%、太陽光発電付が10.6%でした。



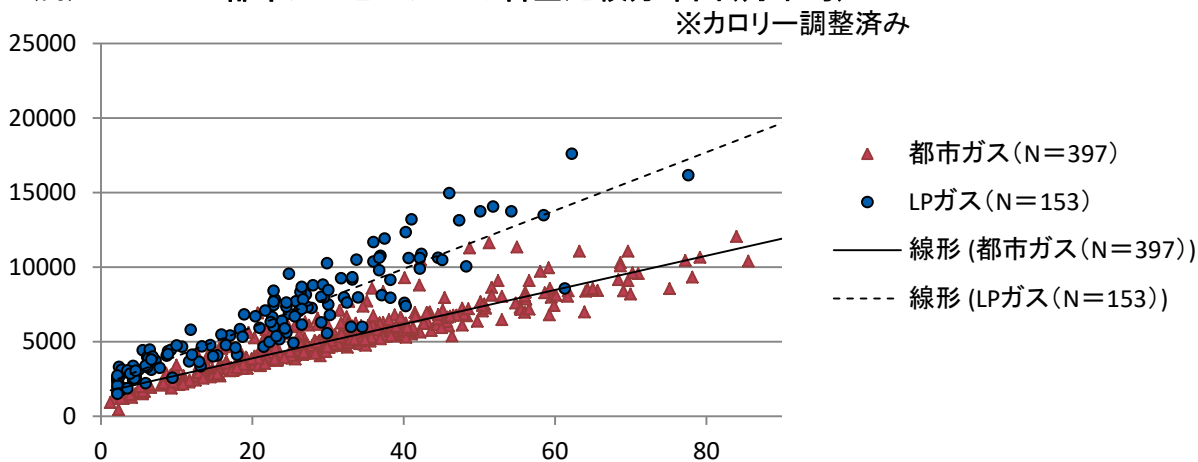
都市ガスとLPガスの1㎡あたりの料金を比較したところ、都市ガスよりLPガスの方がどの月も100～150円程度高くなっていることがわかります。料金比較の分布図を見ても、同等の使用量であっても全体的にLPガスの方が都市ガスより料金が高くなっていることが分かります。LPガスの1㎡あたりの料金をエリア別にみると、エリアによって大きく差があることがわかりました。使用量が少ないエリアでは多いエリアより1㎡あたりの料金が高くなる傾向がみられます。

都市ガス・LPガス1㎡あたりの料金(平均、月別の推移)



都市ガスとLPガスはカロリー(熱量)が異なるため(都市ガスが約10,740kcal/㎡、LPガスが約24,000kcal/㎡)、LPガスの使用量(㎡)を2.23倍して比較しています。

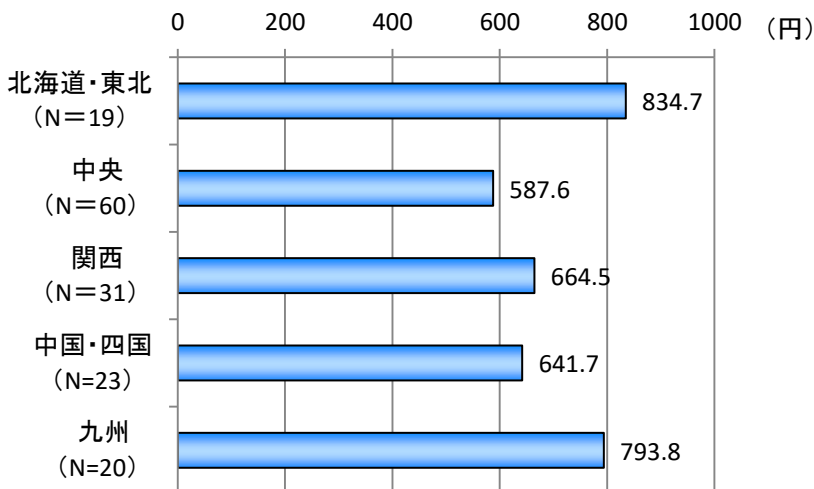
都市ガスとLPガスの料金比較分布図(月平均)



LPガスの料金と使用量(月平均、地域別)

	料金(円)	使用量(㎡)
北海道・東北 (N=19)	5414.4	6.5
中央 (N=60)	6903.4	11.7
関西 (N=31)	6462.6	9.7
中国・四国 (N=23)	7200.6	11.2
九州 (N=20)	4491.5	5.7

LPガス1㎡あたりの料金(月額平均、地域別)



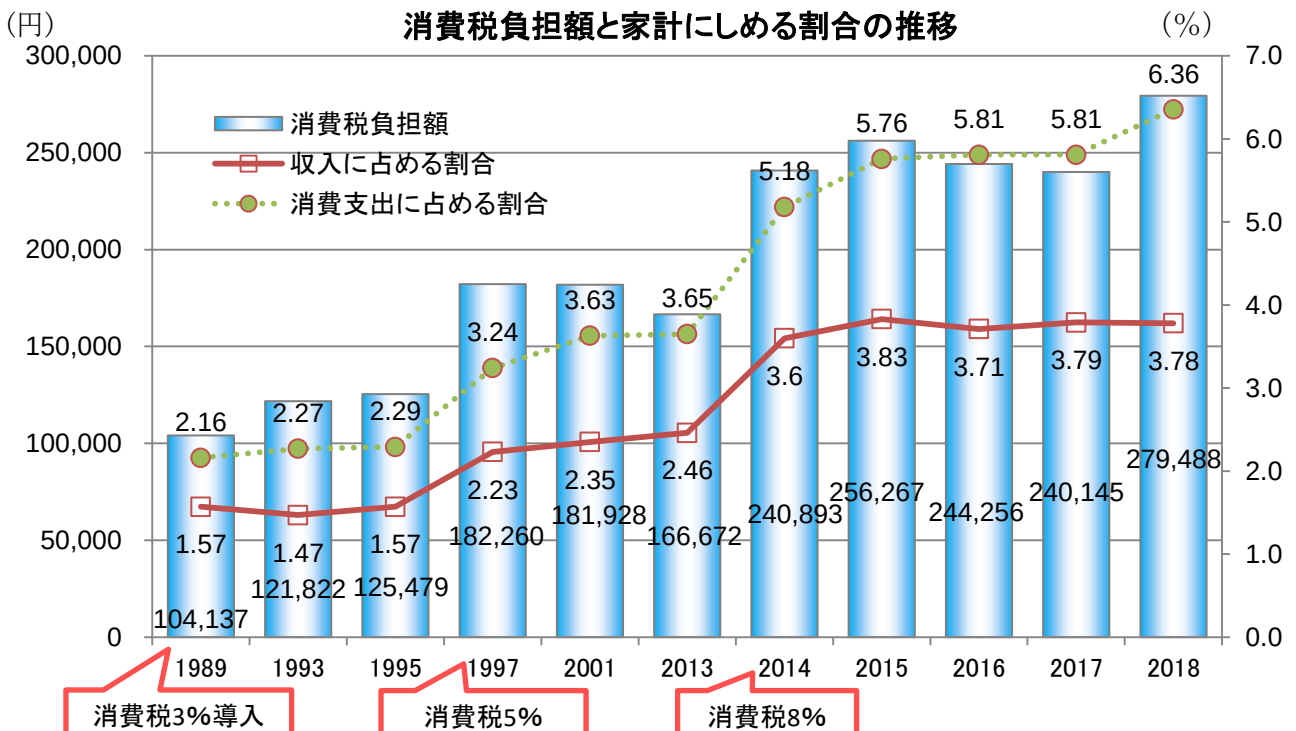
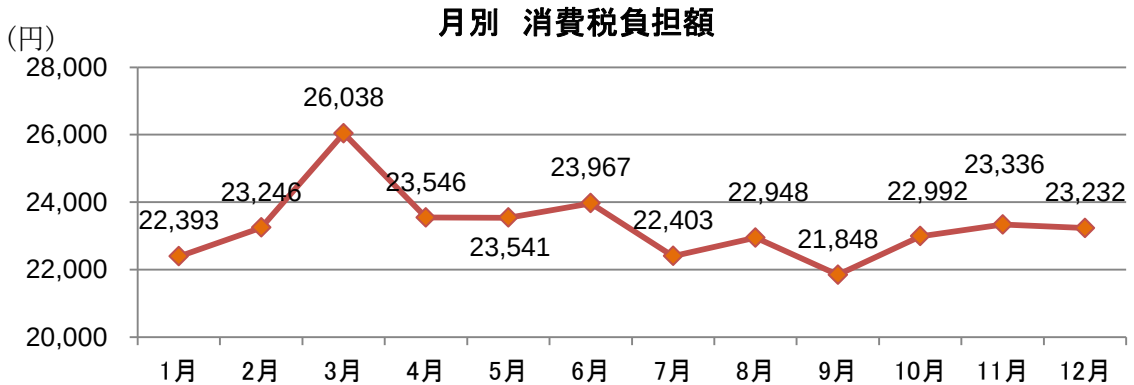
4. 消費税しらべ

【「消費税しらべ」の概要】

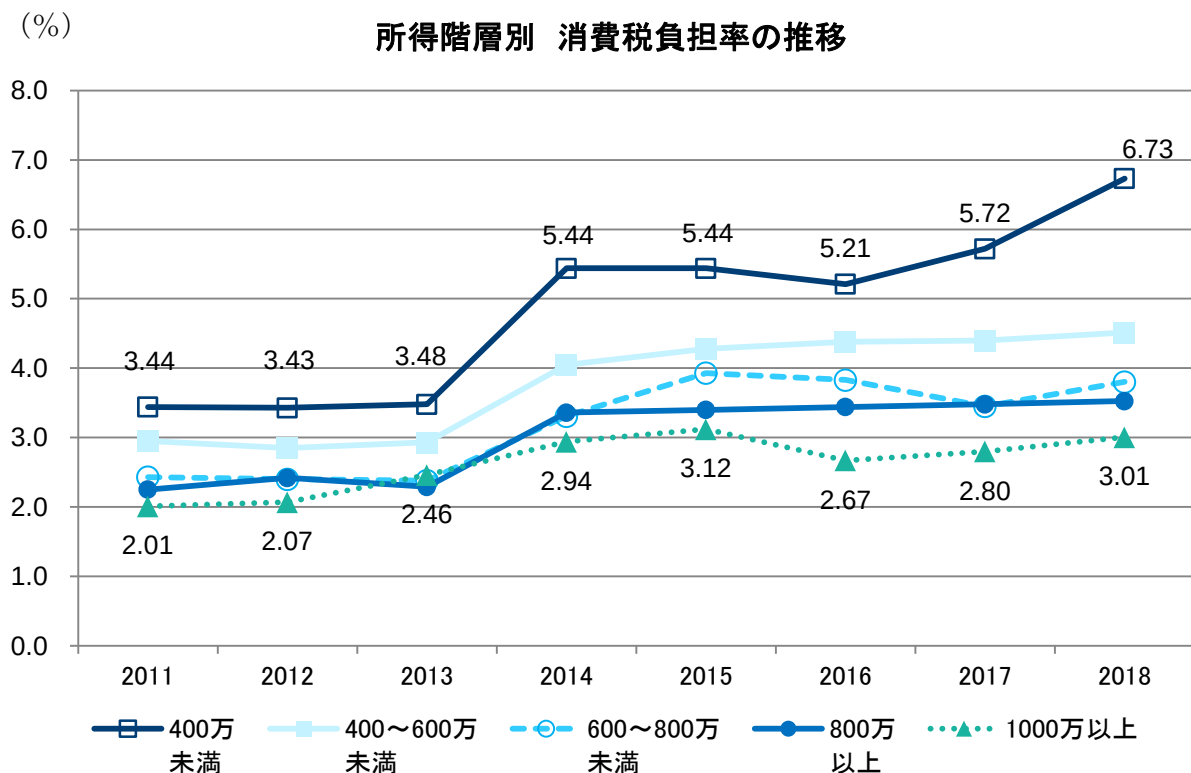
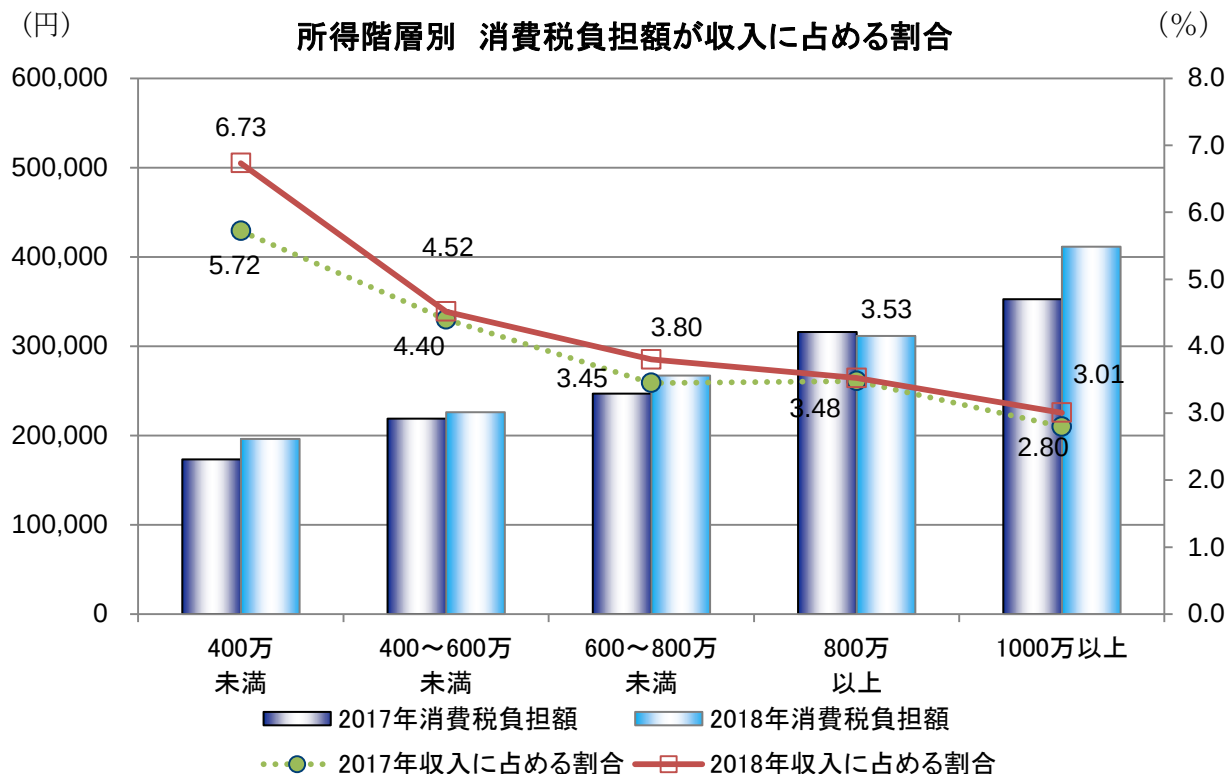
「家計・くらしの調査」と並行して、「消費税しらべ」を実施しました。本調査は「家計・くらしの調査」の参加モニターを対象に、消費支出のうちに占める消費税の金額を任意で提出いただいた調査です。

2018年は519名の方にご協力いただきました。なお、本調査は2017年まで実施していた同名の調査と同じ考え方で実施したため、2017年調査以前の数値との比較も行いつつ結果をまとめました。（数値に大きな変化が生じている項目については、昨年とモニターの入れ替わりがかなりあったことに起因すると考えられます。ご了承ください。）

1カ月当たりの消費税額は平均で23,291円でした。家計にしめる割合の推移をみると、5%、8%の増税が実施された年に割合が増える傾向にあります。2018年は昨年から消費税負担額・消費支出に占める割合に変化があったものの、収入に占める割合は昨年と同水準となっています。



所得階層別の消費税負担率を見ると、年収が低い世帯ほど高くなっており、2017年調査と同様の結果となりました。負担率の推移について、昨年とモニターの入れ替わりがあったことにも起因すると思いますが、400万円の世帯については昨年から1.01ポイント上昇しています。また、その他の所得層も増加傾向にあります。



お寄せいただいた声(抜粋)

今月から小学生の子供2人がスイミングに通う事になり、月謝をどう捻出するか大変苦慮しました。家族旅行の積み立てや自分のお小遣い、酒代を少しずつ削るも足りず赤字が増えそうです...昨日は来年に消費税10%になるニュースを聞き益々不安になりました...試しに今月の消費税調べを10%で計算したら消費税が約2,400円増となりました・・・(宮城県)

通信費が毎月かなりの割合を占めますね。たぶん使わない契約内容もあって、見直せばもう少し減らせるかと思うのですが、格安スマホも気になってます。(岡山県)

今月は、私が体調を崩し医療費が余分にかかりました、夜間に救急にかかり検査来月にも予約があるため来月も・・・です。また今月は固定資産税の年間払いの引き落とし月と自動車税、軽自動車税と、税金が重くのしかかっています。(兵庫県)

電気料金、もともと使用量は少ないけど、契約プランを切り替えて2年間毎月800円弱の値引き。毎月決まって出て行くオカネって、ボディにジワジワ効いてくるんですよ。今度のプランは口座振替値引きしないのでクレジットカード支払いに切り替え。支払は1つのカードに集約してポイント貯めてます。こまごまと節約中なり。(長崎県)

今月は特に大きな行事もなく安定した家計でした。ボーナスは去年と同じでした。大手企業は給料もボーナスも増えて家計も潤っていると思いますが、中小企業は相変わらず物価ばかり上がって収入上がらず、家計のやりくりを頭を悩ませている次第です。何とか中小企業にも景気回復の恩恵が届いてほしいものです。(千葉県)

大型の台風が2つも来ました。お亡くなりになられた方がいらっしゃったり、家が壊れたり、と大きな被害が出ました。我が家周辺では停電し、初めて半日以上の停電を経験しました。電気の重大さと非常時への対策を実感致しました。北海道の大地震の被害に遭われている方々のお気持ちが少しですが、よくわかります。もうこれ以上災害はやって来て欲しくありませんね。(京都府)

今月の食費が3万円代で済んだ。野菜をいただいたり、ふるさと納税の豚肉や、お米などで極力買い物はしなかったからだ。やればできるんだなという感じがしました。(北海道)

プロパンガスを使用しているのですが、毎月かなりの額になります。今月は寒さもあり、今までで最高額になりました。借家のためガス会社の変更もかないません。他の地域に比べて高いと思うのですがどうなのでしょう。(茨城県)

先月に引き続き今月も大学の授業料が家計支出の半分以上を占めます。これで県外で下宿とか、私立大学だとすれば、大変なことになりそうです。やはり、これからの将来を担う若者の教育は、国が担うべきなのではないかなと、最後の授業料を納めてつくづく感じます。でも、ばらまきはやめてほしい。ある程度の収入がある人には、それ相当の負担はするべきだと思います(宮崎県)。

今まで消費税額をあまり気にしていなかったので、消費税しらべで把握できました。増税に向けて様々な策が取り沙汰されています。小細工してまで本当に増税が必要なのか、無駄な支出を減らすのが先ではないか、と家計を厳しく管理する主婦には疑問符だらけです。(神奈川県)

集計表(総平均)

	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
給料(夫)	338,329	403,355	461,342	173,256	18,563
給料(妻)	74,156	93,873	101,198	56,586	20,473
賞与(夫)	85,223	106,297	147,980	23,795	2,376
賞与(妻)	16,986	13,304	15,394	4,064	2,526
年金(夫)	895	258	6,841	107,245	182,656
年金(妻)	604	2,052	3,516	33,224	91,534
その他の収入	26,765	40,526	82,495	86,144	51,605
収入計	542,957	659,665	818,766	484,314	369,733
所得税(夫)	13,429	22,030	33,585	10,623	1,993
所得税(妻)	1,920	2,734	2,413	1,007	740
住民税(夫)	16,946	21,737	28,293	13,500	4,713
住民税(妻)	2,681	3,249	3,270	1,696	1,819
その他の税金	4,189	6,851	9,526	13,168	9,816
税金計	36,484	53,352	73,818	38,298	17,262
健康保険(夫)	20,423	26,643	30,067	20,578	19,520
健康保険(妻)	3,946	4,319	4,885	4,227	8,094
厚生年金(夫)	37,858	44,407	48,413	14,822	1,435
厚生年金(妻)	6,935	7,207	7,107	3,420	1,610
雇用保険(夫)	1,216	1,524	2,445	602	12
雇用保険(妻)	197	267	193	135	44
国民年金(夫)	649	539	597	5	0
国民年金(妻)	2	376	861	2,204	256
国民年金(子)	0	682	3,301	1,956	13
社会保険料計	71,223	85,587	97,008	45,747	30,728
生命保険	29,419	35,507	33,104	20,232	13,510
損害保険	4,811	5,379	9,797	5,961	6,183
個人年金ほか	5,902	10,763	13,308	3,270	787
私的保険料計	40,132	51,649	56,210	29,463	20,479
食費	45,376	60,991	64,333	61,834	59,328
外食費	10,680	10,708	10,595	9,313	6,884
住居費	71,879	68,138	62,936	32,695	31,479
水・光熱費	16,278	19,293	20,224	19,612	17,369
保険医療費	9,247	11,245	12,610	14,061	11,812
通信費	14,286	19,434	21,574	17,729	13,446
教育費	28,302	69,410	79,381	12,603	3,289
その他の消費支出	110,274	124,820	178,734	147,290	118,826
消費支出計	297,074	372,793	437,777	301,077	250,622

調査票

家計・くらしの調査 ◆ 12月分 ◆

こちらは「家計・くらしの調査」の調査票のページです。
費目をご入力の上、「確認画面へ」ボタンを押してください。

入力の締め切りは1月20日です。

※収入・支出が発生しなかった費目については「0」をご入力ください。

※*は必須項目です。

※入力に困った時は「家計・くらしの調査」手引き、または費目検索をご参照ください！

[○「家計・くらしの調査」手引き](#) [←こちらをクリック](#)

[○「家計・くらしの調査」費目検索](#) [←こちらをクリック](#)

[○「家計・くらしの調査」生計費調査との比較対照表](#) [←こちらをクリック](#)

収入		
給料	夫*	円
	妻*	円
賞与	夫*	円
	妻*	円
年金（公的・私的）	夫*	円
	妻*	円
その他の収入*		円
収入計		0円

税金（直接税）		
所得税	夫*	円
	妻*	円
住民税	夫*	円
	妻*	円
その他の税金*		円
税金（直接税）計		0円

社会保険料		
健康保険 ※介護保険も含む	夫*	円
	妻*	円
厚生年金	夫*	円
	妻*	円
雇用保険	夫*	円
	妻*	円
国民年金	夫*	円
	妻*	円
	子*	円
社会保険料計		0円

私的保険料	
生命保険* ※定期保険、養老保険、終身保険、 医療保険、がん保険、学費保険など	円
損害保険* ※CO・OP火災共済、火災保険、 自動車保険、旅行保険など	円
個人年金ほか*	円
私的保険料計	0円

消費支出	
食費* ※外食を除く、中食を含む	円
外食費*	円
住居費*	円
水・光熱費*	円
保健医療費*	円
通信費*	円
教育費*	円
その他の消費支出*	円
消費支出計	0円

◆ 上記の「水・光熱費」のうち、電気とガスについて詳しく教えてください。

電気・ガス		
電気 ※使用量について、 小数点以下は四捨五入し 整数でご回答ください	料金*	円
	使用量*	kwh
ガス ※ガスを使用していない方は 「0」とご入力ください ※使用量について、 小数点以下は四捨五入し 整数でご回答ください	料金*	円
	使用量*	m ³

◆ 1つの項目で100万円を超える大きな支出があった場合は
「今月の家計についてひとこと」欄にその用途を具体的に記入願います。

今月の家計についてひとこと

消費税しらべ（任意回答）

こちらは「家計・くらしの調査」とは別の調査で、任意回答です。

下の方で金額を算出し、「消費税額」の欄に記入してください。

消費支出計 - 「非課税の消費支出*」 ÷ 108 × 8 = 消費税額

課税の消費支出の算出方法など、詳細は「手引き」の13ページを参照ください。

消費税しらべ」に12カ月連続でご協力いただいた方には、別途500円の図書カードをプレゼントします。

消費税額

円

確認画面へ